

<ちょこっとコラム③⑨>

(聖書時代の生活と文化 その④)

「からし種」 *mustard seed*

イエス様のたとえ話によく出てくる植物の種で、一粒の大きさが0.5ミリ程度のクロガラシの種子であると言われています。種から良い油が採れるため、広く栽培され、茎高5mにも伸びるそうです。最も小さいものから、大きな成果が育つことのたとえとして用いられています。マタイによる福音書13章31節では、天の国の成長の著しさのたとえとして、また今朝の福音書、ルカ17章6節では、わずかな信仰が奇跡を起こすことの比喩に使われています。

信仰が弱い、足りないと自分のことを常に嘆くわたしたちに対しても、イエス様は大きな大きな成果を約束してくださっているのです。